

# とちぎの子ども 「確かな学力」を育むために

栃木県検証改善委員会

～全国学力・学習状況調査の結果に基づく栃木県学校改善支援プラン(教職員向け)～

## 確かな学力を育むために

栃木県検証改善委員会委員長 松本 敏

私ども栃木県検証改善委員会は、文部科学省からの委託を受け「全国学力・学習状況調査」の結果を基に「栃木県学校改善支援プラン」を作成してまいりました。

プランの作成に当たっては、学校や家庭における日常的な生活など、授業の改善以外の点についても幅広く検討するとともに、各学校における独自の分析や実践を進めることが重要であると考え、委員会としてはあまり多くのことを盛り込まないよう留意しました。特に、授業改善に関しては2点まで絞りましたので、各学校の学力向上対策に併せてお取り組みいただきたいと考えております。

調査の結果を分析する際には、どうしても課題となる部分にばかり注目してしまいがちですが、これまでの教育活動によって子どもたちが伸びている点を、各学校でもよく分析していただき、自信をもってお取り組みいただくことが肝心であると思います。

子どもたちの確かな学力を育むことに、近道はありません。何よりも、子どもたちにとって毎日が楽しく充実した日々になることが大切であり、そのためには、教職員の皆さんが、子どもたちのために本当に役立つ教育活動を行っているかということ、日々考え、改善していく必要があるのではないのでしょうか。どうか、とちぎの子どもたちに確かな学力を育てていくため、各学校の教職員の皆さんが互いに知恵を出し合い、家庭や地域と連携を図りながら精力を傾けていただきますよう、心から御期待申し上げます。

本日に至るまでにお世話になりました関係各位に感謝申し上げ、発刊に当たってのごあいさつといたします。

## ごあいさつ

栃木県教育委員会教育長 平間 幸男

栃木県検証改善委員会の皆様には、9月14日に本委員会が発足して以来、「全国学力・学習状況調査」における本県の結果分析、並びに「栃木県学校改善支援プラン」の作成に誠心誠意お取り組みいただき、このたび、リーフレットとして御発表いただきますことに対しまして、心より感謝申し上げます。

調査における本県の結果を見ますと、平均正答率は全国と比較してほぼ同程度と言えます。中でも中学校国語B(主に活用を見る問題)においては、各学校の取組の成果が見られ、やや高い結果となりました。また、各学校で以前から力を入れている読書活動についても大変成果が見られたところです。しかし一方では、小学校算数Bにおける記述式問題の平均正答率がやや低いなど、課題もいくつか見られました。

今回、栃木県検証改善委員会の皆様にご作成していただいた「栃木県学校改善支援プラン」は、これらの結果を更に深く分析し、今後取り組むべき内容を明らかにしていただいたものであり、我々栃木県にとっては、まさに宝物であります。しかし、この宝物を飾っておくだけにしてはなりません。各学校では、本プランを基に、各学校の実情に応じた改善策に取り組み、次代を担うとちぎの子どもたちに、より確かな学力を育てていただきますようお願いいたします。

# 一人一人が主体的に思考・判断する活動の充実

小学校国語B(主に活用)は全国と比較してほぼ同程度でしたが、この中では、グラフを読み取りながら文章を読む問題が出題されました。

これまでの国語の問題とイメージが違いますが、普段新聞を読むときなどは、このような読み方をします。

この問題の平均正答率は、**本県 57.5% 全国 60.8%**と、やや低い結果でした。

このような、資料と文章とを関連づけて正しく読む力を身に付けていくため、国語科で身に付けた技能を生かし、各教科の授業で、文章をグラフ・図などに見比べながら自力で正確に読み取る経験を積ませていきたいものです。

三角形の角のうち2角が分かっているときの残りの角を求めるといふ、小学校算数A(主に知識)の問題

**(本県87.7% 全国83.7%)**

や、直方体の面に垂直な辺

**(本県69.0% 全国65.9%)**、

ねじれの位置

**(本県73.4%、全国70.1%)**

を問う中学校数学Aの問題では全国と比較してやや高い結果でしたが、

16cmの長さのひもを使って長方形や正方形をつくり、たてと横の長さを表にして変化を見るところ小学校算数Aの問題の平均正答率は、

**(2)本県 68.5% 全国 75.3%**

**(3)本県 69.7% 全国 75.1%**

と、低い結果でした。

決められた処理ができることは大切ですが、自分一人で情報を整理し、事象を見定めて思考・判断する力も大切な基礎・基本であり、日々の授業で鍛える必要があります。

以上のようなことから、例えば、既に身に付いている内容を何度も繰り返すような指導内容については精選し、児童生徒一人一人が主体的に思考・判断する活動を行う時間を確保し充実していくことが重要であると考えられます。例として次のような活動が考えられます。

## 理科の例

子どもたちが自由に考えた課題を、様々な視点で練り合わせながら、調べる価値の高い課題へ導いていくことで、目的意識をもって観察・実験に取り組ませる。

## 外国語科の例

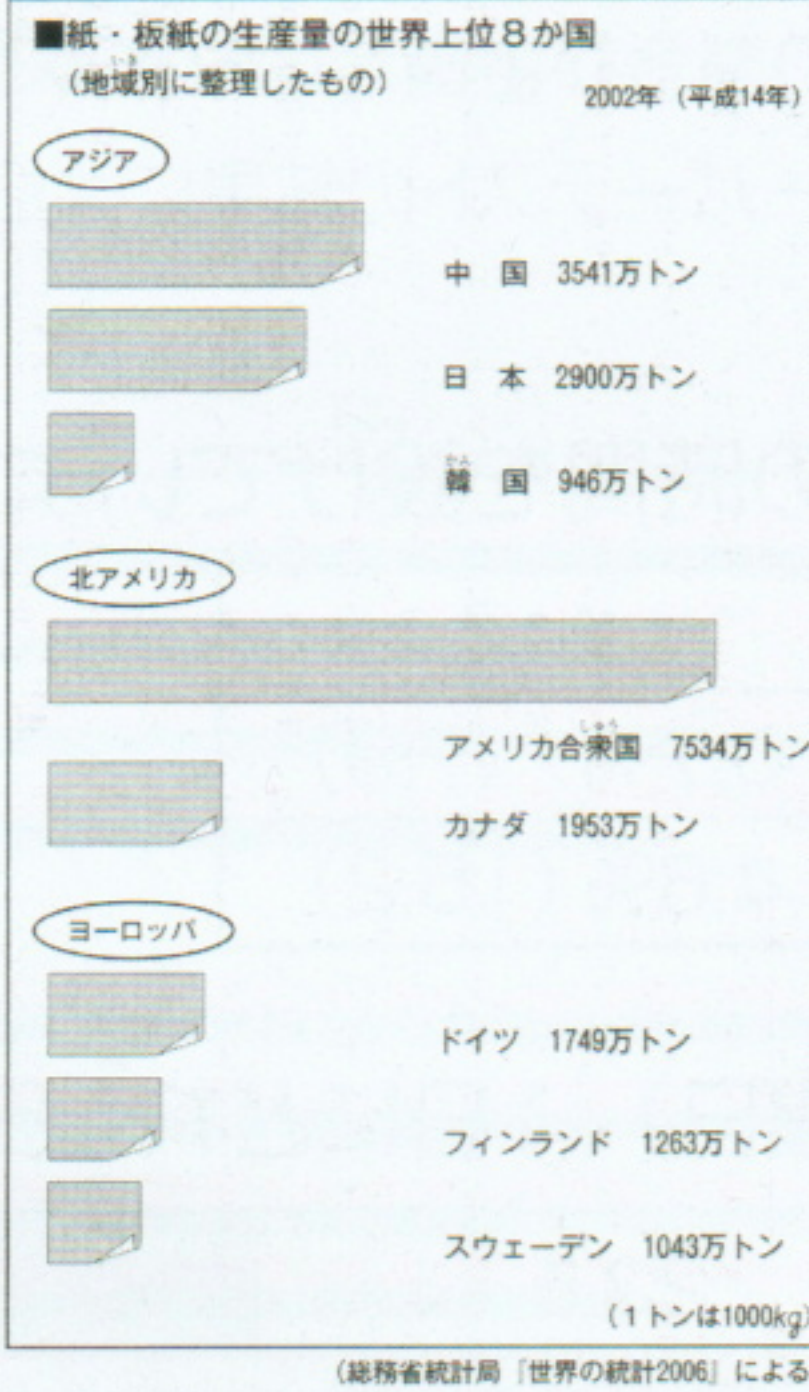
海外旅行でのトラブル等、実際の場面の中での課題を与えることで、一人一人の課題意識を高め、その場に合った適切な表現を積極的に考えさせる。

## 図工・美術科の例

教師が作品の形や色彩等の造形的な特徴を絞り込んで示すことで、深く感じ取らせ、それをもとに子どもたちが自分の主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考えさせながら表現させる。

資料2をもとに、資料1の第4段落の「ア」の中に入るふさわしい数字を書きましよう。

【資料2】



川本さんの学級では、ごみを減らす取り組みの一つとして、身近な紙の問題を調べ、新聞にまとめて書くことになりました。そこで、紙についての資料を集めました。次の資料を読んで、あとの問いに答えましよう。

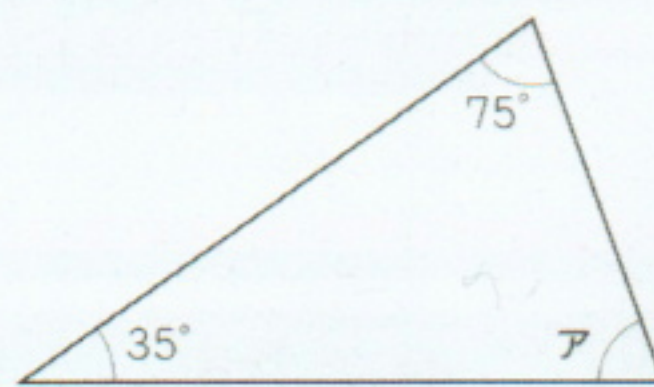
※段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

【資料1】

- 1 家庭や地域などから毎日のようにさまざまなごみが出されます。ごみの量をこれ以上増やさないようにするために、わたしたちに何が出来るでしょうか。また、資源として大切に使うために、どのようなことが出来るでしょうか。身近な紙の問題を例にして考えてましよう。
- 2 紙は、わたしたちの暮らしの中でなくてはならないものであると同時に、産業や文化を支える大事な働きをしています。トイレットペーパーやティッシュペーパーなどは、生活用品として、また、新聞や雑誌、本などは、情報と知識を伝えるものとして、はば広く使われています。
- 3 一般に紙は、「紙」と「板紙(厚手の紙のこと)」に区分されます。新聞、雑誌、印刷用紙、コピー用紙、ノート、ティッシュペーパーなどは、「紙」に区分されます。段ボールや紙箱用のボール紙などは、「板紙」に区分されます。
- 4 日本の紙と板紙の生産量は、二〇〇二年(平成十四年)には、世界第**ア**位と

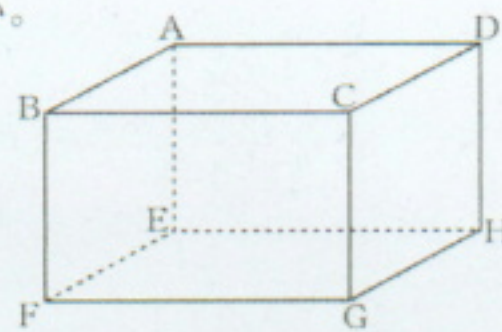
## 全国と比較してやや高い

- (1) 下の三角形の角アの大きさは何度ですか。  
答えを書きましよう。



- (1) 右の図のような直方体があります。これについて、次の①、②の各問いに答えなさい。

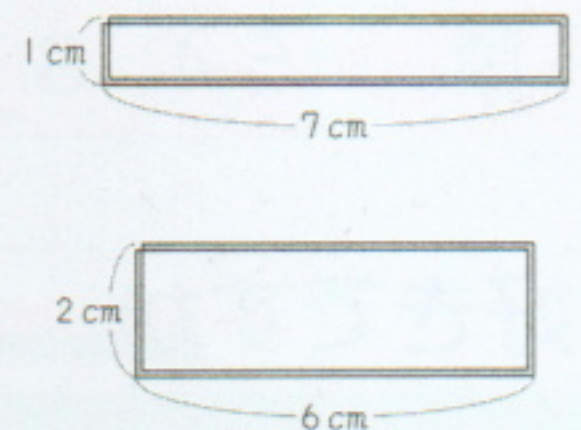
- ① 面EFGHと垂直な辺を1つ書きなさい。



- ② 辺BFとねじれの位置にある辺を1つ書きなさい。

## 全国と比較して低い

下の図のように、16cmの長さのひもを使って、長方形や正方形を作ります。



- (2) 作った長方形や正方形のたてと横の長さの関係を、表にまどめます。  
解答用紙の表のあいているところに、数を書き入れましよう。

たて (cm)	1	2	3	4	5	6	7
横 (cm)	7						

- (3) 長方形や正方形のたての長さが1cmずつ増えると、横の長さはどうなりますか。  
解答用紙にあてはまる数を書き、「増える」か「減る」かのどちらかを○で囲みましよう。

# 各教科における伝え合う活動の充実

中学校国語Bでは、平均正答率が全国より2.0%ほど高く、特に「書くこと」の領域、「書く能力」の観点

(ともに **本県66.8%、全国64.4%**) から出題された問題の正答率が高くなっています。例えば、「蜘蛛の糸」の最後の場面が必要かどうかを主張する作文問題の平均正答率は、**本県 78.4% 全国 74.8%** と、やや高い結果でした。また、小学校においても、「書くこと」「書く能力」については、全国とほぼ同程度となっています。

しかし、小学校国語Bの、情報の中から必要な事柄を取り出し、新聞にまとめる問題については、

**本県 46.9% 全国 49.0%** であり、情報を取り出し加工することにやや苦手な様子も見られました。

中学校数学Bでは、連続する5つの自然数の和は5の倍数になることを説明する問題が出題されましたが、この問題の平均正答率は、

**本県 42.1% 全国 40.9%** と、全国とはほぼ同程度でした。このような問題は、数学ではよく出題されます。

しかし、小学校算数Bにおける記述式の問題全体についてはやや低く (**本県 41.8%、全国45.0%**)、中でも、公園の面積の広さの違いを説明する問題では、

**本県 13.8% 全国 17.9%** と、低くなっています。

説明するという行為は、問題を解くためだけでなく、相手に分かるように伝える目的のためのものです。普段の授業の中でそのような経験が積まれているかどうか問われます。

(2) 太郎さんの説明から、  
連続する5つの自然数の和は5の倍数になることが予想されます。太郎さんの説明を参考にして、このことが正しいことの説明を完成しなさい。

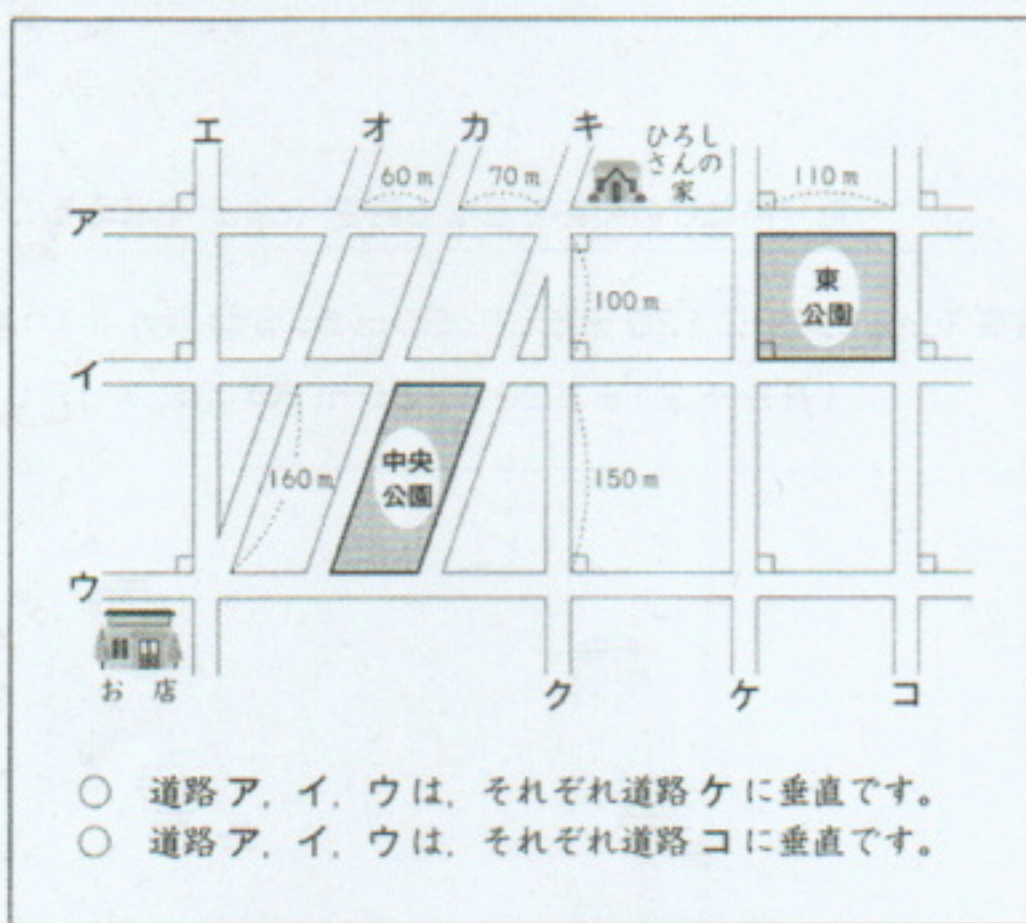
説明

連続する5つの自然数のうち、最も小さい数を $n$ とすると、連続する5つの自然数は、 $n, n+1, n+2, n+3, n+4$ と表される。

5つの自然数の和は、  

$$n + (n+1) + (n+2) + (n+3) + (n+4)$$

$$= n + n + 1 + n + 2 + n + 3 + n + 4$$



(3) ひろしさんの家の近くに東公園があります。  
東公園の面積と中央公園の面積では、どちらのほうが広いですか。  
答えを書きましょう。また、そのわけを、言葉や式などを使って書きましよう。

以上のようなことから、集団で学習していることよさを生かし、互いに伝え合うことを目的とした学習活動が重要であると考えられます。そのためには、自分が表現するだけでなく、考えや説明を聞き合い、互いに練り上げることで、理解がさらに深まるということを見習う児童生徒自身が自覚する必要があります。例として次のような活動が考えられます。

## 社会科の例

様々な統計資料や分布図などを基に一人一人が見いだした地域の特色を互いに結びつけ、話し合いによって地域の特色を総合的に捉える。

## 体育・保健体育科の例

体ほぐしの運動で仲間と触れ合ったり、ゲームで仲間を観察したりする中で、自分や仲間の心や体の様子に気づいたことを、互いに伝え合う。

## 音楽科の例

一人一人が感じ取ったことを話し合い、音や身体などで表現し合うことにより、友達の気づいたことに触れ、共感的に音楽のよさや美しさを感じ取る。

# 読書活動に今後も継続して取り組む

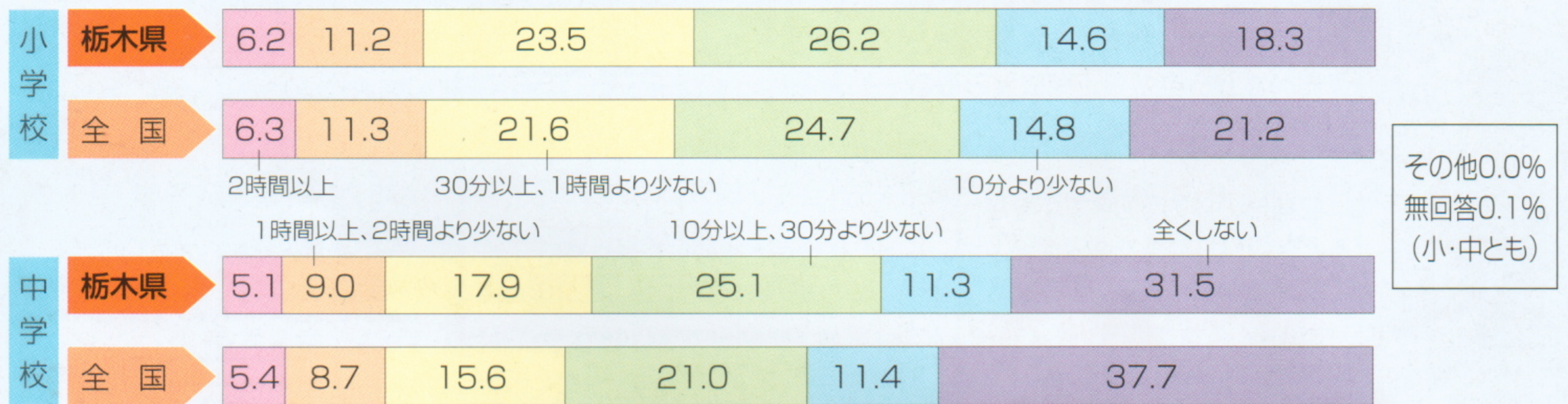
児童生徒質問紙調査や学校質問紙調査の結果を見ると、本県では読書に関する意識について、望ましい傾向が見られました。特に中学校では読書好きの生徒の割合が全国と比較すると高いなど、各学校におけるこれまでの取組の成果が見られます。また、読書が好きな児童生徒とペーパーテストの結果には相関が見られます。 ※( )内は全国の結果

## 「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けていますか

	はい	いいえ
小学校	99.3% (92.0)	0.7% (7.9)
中学校	95.4% (84.6)	4.6% (15.2)



## 家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、読書をしますか



## 読書は好きですか

	児童生徒数 (人)	割合(%) ( )は全国	平均正答率(%)				
			国語A	国語B	算数・数学A	算数・数学B	
小学校	当てはまる	8,383	46.1 (45.4)	83.9	66.0	82.6	65.0
	どちらかといえば、当てはまる	5,140	28.2 (25.9)	80.6	59.0	80.5	60.7
	どちらかといえば、当てはまらない	3,121	17.1 (17.8)	79.4	57.0	80.0	60.0
	当てはまらない	1,554	8.5 (10.9)	75.0	49.0	75.8	54.3
中学校	当てはまる	8,340	48.3 (43.2)	85.5	78.7	74.6	64.1
	どちらかといえば、当てはまる	4,498	26.1 (24.7)	82.0	73.1	71.6	60.0
	どちらかといえば、当てはまらない	2,887	16.7 (18.8)	78.7	67.2	68.2	56.6
	当てはまらない	1,513	8.8 (13.1)	76.0	61.2	66.0	52.7

読書は、学習にいい影響を及ぼしているようです。各学校では、朝の読書活動などを中心に児童生徒が読書好きになれるよう努力してきていますが、今後も、家庭や図書館と連携を図るなどしながら、一層読書に親しみが持てるよう努力することが大切です。

## 全国学力・学習状況調査の概要

- 調査の目的**
  - 全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の結果を検証し、改善を図る。
  - 教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育の結果を把握し、改善を図る。
- 調査実施日** 平成19年4月24日(火曜日)
- 調査の内容**
  - 小学校6年(国語・算数)、中学校3年(国語・数学)の原則として全児童生徒を対象
  - 「知識」に関する問題Aと、「活用」に関する問題Bを出題
  - また、生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査(児童生徒質問紙、学校質問紙)を実施